

## 6 学年題材指導計画

### 曲想を生かして合奏の楽しさを味わおう（7時間扱い）

#### 1. 題材のねらい

楽曲の感じやから曲想をとらえて、想像豊かな演奏ができるようにする。

曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり、演奏の工夫をしたりすることができるようにする。

#### 2. 教材について

##### (1)コパカバーナ（パニー・マニロウ作曲）

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》A(1)イ，A(2)ア，イ，A(3)イ，B(1)イ

音楽発表会の全体合奏にふさわしいダイナミックで躍動感のある楽曲である。ラテンの打楽器がリズムを作り、そのリズムによって次第に高まる曲の気分を味わえる。また旋律、後半部の曲の山など、曲想の変化と様々な楽器の音の重なりによる和声的な響きを十分に感じ取ることができる曲でもある。主旋律、副次的な旋律と役割を変化させながら楽器に持ち味や効果的な奏法、全体へ果たす役割を考えさせ、一人一人が自分のパートに楽しく取り組むことができるようにしたい。

##### (2)ソーラン節（北海道民謡 小島里美編曲） \*音楽発表会の演奏曲

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》B(1)ウ

古くから伝わる民謡を現代風にアレンジした楽曲である。本来のふしを基本としてその倍速のふしや和太鼓の演奏に掛け声の入った部分など、ヴァリエーション豊かに曲が展開されていく。子どもたちにとっては、運動会での「ヨサコイソーラン」でも聴いたことがあり、親しみやすい楽曲である。日本独特の曲想を感じることができる楽曲となっている。

#### 3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	様々な楽器に興味関心をもち、自分の表現意図を明確にもとめたり、集団で協力しながら器楽合奏に取り組もうとしたりしている。	曲想やその変化を感じ取るとともに、楽器固有の音色や音の重なりによる響きに気付いて、より豊かな演奏になるよう表現の工夫をしている。	曲想を生かし、全体の響きを感じ取って、豊かな表現目指して楽器を演奏している。	曲想や響きの違いを感じ取りながら、曲想を構成する要素に気付いて聴いている。

<p>学 習 活 動 に お け る 具 体 的 評 価 規 準</p>	<p>旋律の特徴やその変化を感じ取りながら、聴いたり表現したりしようとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□曲想の明確なとらえ。</p> <p>□鑑賞や表現活動に生かす姿勢。</p> <p>様々な旋律楽器や打楽器に興味関心をもち、演奏することを楽しんでいる。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□自分が取り組んだことのない楽器に挑戦。</p> <p>□効果的に演奏しようとする姿勢。</p> <p>□友達に率先して練習する態度。</p>	<p>様々な旋律楽器や打楽器による音色の特徴を感じ取って表現の工夫をしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□楽器の音色の特徴についての気付き。</p> <p>□楽器の音色の特徴を生かした演奏の工夫。</p> <p>合奏における楽器やパートの構成を工夫して、音の重なりを生かした表現の仕方を工夫している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□楽曲の構成から全体的な器楽表現の工夫について明確な提言。</p> <p>□全体から見た各楽器やパートの役割の把握。</p> <p>友達と一緒に演奏するよさを感じ取り、自らの演奏をより豊かな表現へと高めようとしている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□友達との具体的な教え合い、認め合い。</p> <p>□共同で高めあう練習方法の工夫。</p> <p>□美しい音の重なりになるよう工夫した演奏。</p>	<p>八長調の読譜に親しみ、自分の楽器を視奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□正確な読譜。</p> <p>□音量や速度の変化に留意した演奏。</p> <p>様々な旋律楽器や打楽器の適切な扱い方、演奏の仕方を身に付け、主旋律や副次的な旋律、リズムを演奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□正しい楽器の扱い方。</p> <p>□効果的な奏法。</p> <p>音の重なりや和声がいい響きになるよう、工夫して演奏している。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□音の重なりや和声の響き。</p> <p>□他のパートと自分のパートの関係、全体の響きのとらえ。</p> <p>□音楽的な要素をおさえた演奏と説明。</p>	<p>合奏における楽器やパートの構成、主旋律や副次的な旋律の関係を理解して範奏や友達の演奏を聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□楽器やパートにおける役割やかかわりのとらえと説明。</p> <p>□旋律の反復や変化、旋律同士のかかわり合いなど、楽曲全体の構成の明確なとらえと説明。</p> <p>音楽表現のよさや美しさを感じ取りながら、友達や他学年の演奏を聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□多様な演奏形態から生まれるよさや美しさへの気付きと詳しい説明。</p>
--	---	---	---	--

## 4. 指導と評価の計画(7時間扱い)

## : 取り扱い項目

## 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価 規準	指導要領 との 関連	内容のまとめり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1 . 2	<p>《コパカバーナ》 範奏 CD を聴いて、曲全体の感じを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲の特徴を感じ取って聴く。</li> <li>・ 楽器の音色や音の重なり方で気付いたことを発表し合う。</li> <li>・ 主旋律を演奏する。</li> <li>・ リコーダーや鍵盤を用いて、主旋律のフレーズを演奏する。</li> <li>・ 旋律の特徴をつかんで演奏する。</li> <li>・ 楽器を選択し、パートごとに読譜を行う。</li> <li>・ <b>楽器の音色に気を付けて視奏する。</b></li> <li>・ 演奏して気付いたことやこれからの課題を学習カードにまとめる。</li> </ul>	ア - イ -	A(2)ア A(3)イ					学習カード 発表  演奏聴取 学習カード  演奏聴取 学習カード
3 . 4 . 5	<p>各パートごとに、音を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーボードなどで、音を確かめながらゆっくりとしたテンポで、短い小節の練習をする。</li> <li>・ フレーズを意識して、自分のパートを練習する。</li> <li>・ パートごとに、合奏の練習をする。</li> <li>・ 楽器ごとに分かれて、それぞれの旋律が分かるような演奏の工夫をする。</li> <li>・ 各パートの特徴をつかんで練習する。</li> <li>・ 音の重なりや掛け合いのあるパートごとに合同練習をする。</li> <li>・ 楽曲の気分を生かせるような表現の仕方に気付き、工夫して練習する。</li> <li>・ <b>友達の演奏や記録ビデオを視聴し、互いのよさや課題について発表し合う。</b></li> </ul>	ア - ウ -	A(3)イ A(3)イ					学習カード 行動観察 演奏聴取  演奏聴取 学習カード 発表 学習カード
6	<p>曲想を生かして合奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各パートの強弱や音量、速度に気を付けて合奏する。</li> </ul>	イ -	A(2)イ					学習カード 演奏聴取

6	<p>けて合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の気分が伝わるように，音の重なりや響きを確かめながら合奏する。</li> </ul>	ウ -	A(2)イ					演奏聴取 演奏聴取
7	<p>曲想を感じながら，他学年の発表を聞く。(音楽発表会 児童の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他学年の発表における，音の響きや旋律・リズムの違いを感じ取りながら聴く。</li> <li>・自分たちとの演奏との違いを学習カードに記入する。</li> </ul>	エ -	B(1)イ					学習カード 発表